

貯 法：室温保存
使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。
(使用期限内であっても開封後はなるべく速やかに使用すること。)

EPA・DHA 製剤

オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル 2g「MJT」

Omega-3-Acid ethyl esters Granular Capsules 2g “MJT”

(オメガ-3 脂肪酸エチル粒状カプセル製剤)



【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1) 出血している患者（血友病、毛細血管脆弱症、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、硝子体出血等）[止血が困難となるおそれがある。]
- (2) 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

成分・分量 (1包中)	オメガ-3 脂肪酸エチル 2g	
添加物	d- α -トコフェロール、香料、大豆レシチン	
	カプセル 本体	ゼラチン、無水クエン酸、白糖、 ペクチン
剤形	軟カプセル	
色調	無色～淡黄褐色透明	
形状	直径約 4 mm の球形	
識別コード	MJT091	

【効能・効果】

高脂血症

【用法・用量】

通常、成人にはオメガ-3 脂肪酸エチルとして 1 回 2 g を 1 日 1 回、食直後に経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により 1 回 2 g、1 日 2 回まで増量できる。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 出血の危険性の高い患者（重度の外傷、手術等）[出血を助長するおそれがある。]
 - (2) 抗凝固薬あるいは抗血小板薬を投与中の患者（「相互作用」の項参照）
2. 重要な基本的注意
本剤の適用にあたっては、次の点に十分注意すること。
 - (1) 適用の前に十分な検査を実施し、高脂血症であることを確認すること。
 - (2) あらかじめ生活習慣の改善指導を行い、更に高血圧、喫煙、糖尿病等の冠動脈疾患の危険因子の軽減等も十分に考慮すること。
 - (3) 本剤投与中は血中脂質値を定期的に検査し、治療に対する効果が認められない場合には投与を中止すること。
 - (4) 本剤投与中に LDL コレステロール値上昇の可能性があるため、投与中は LDL コレステロール値を定期的に検査すること。
3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
抗凝固薬 ワルファリン カリウム等 抗血小板薬 アスピリン等	併用時には観察を十分に行い、出血等の副作用に注意すること。	本剤は血小板凝集抑制作用を有するので、これら薬剤と併用すると出血を助長するおそれがある。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

AST(GOT)、ALT(GPT)、AL-P、 γ -GTP、LDH、ビリルビン等の上昇を伴う**肝機能障害、黄疸**（頻度不明）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

分類	頻度不明
1) 過敏症 ^{※1)}	発疹、薬疹、痒疹
2) 代謝	高血糖、痛風
3) 神経系障害	めまい、頭痛、味覚異常
4) 血管障害	低血圧
5) 呼吸器	鼻出血
6) 消化器	下痢、悪心、腹痛、おくび、腹部膨満、便秘、鼓腸、消化不良、胃食道逆流性疾患、嘔吐、胃腸出血
7) 肝臓 ^{※2)}	肝機能障害（AST（GOT）、ALT（GPT）の上昇）

注 1) このような場合には投与を中止すること。

注 2) 異常が認められた場合には、中止するなど適切な処置を行うこと。なお、肝機能障害のある患者においては、肝機能検査（AST、ALT 等）を行うことが望ましい。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- (1) 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
- (2) 授乳中の婦人には投与しないことが望ましいが、やむを得ず投与する場合には授乳を避けさせること。[動物試験（ラット）で乳汁中に移行することが知られている。]

6. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない（使用経験がない）。

7. 適用上の注意

- (1) 本剤は空腹時に投与すると吸収が悪くなるため食直後に服用させること。
- (2) 本剤は噛まずに服用させること。

* 8. その他の注意

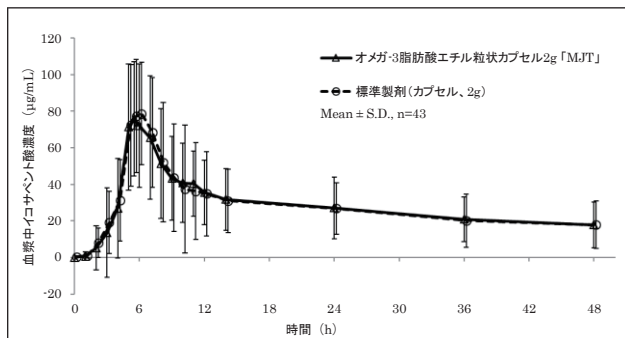
外国で実施された疫学研究において、オメガ-3 脂肪酸エチル 4g/日の用量で、心房細動又は心房粗動リスクの増加を示唆する報告がある^{1) 2)}。

【薬物動態】

生物学的同等性試験³⁾

オメガ-3 脂肪酸エチル粒状カプセル 2g「MJT」と標準製剤をクロスオーバー法によりそれぞれ 1 包（オメガ-3 脂肪酸エチルとして 2 g）健康成人男性に食直後単回経口投与して血漿中イコサペント酸及びドコサヘキサエン酸濃度を測定し、投与前値で補正した値より得られた薬物動態パラメータ（ Δ AUC、 Δ C_{max}）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、log(0.80)～log(1.25)の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

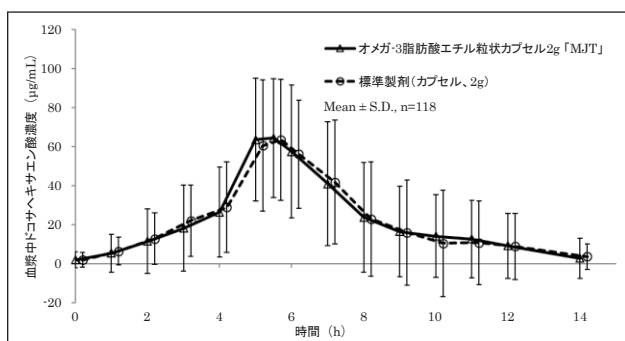
イコサペント酸



	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AAUC _{0-48h} (μg·h/mL)	ΔC _{max} (μg/mL)	Δt _{max} (h)	Δt _{1/2} (h)
オメガ-3脂肪酸エチル 粒状カプセル2g「MJT」	1332.2±657.7	91.0±33.6	6.3±1.7	41.8±35.1 ^{*1}
標準製剤 (カプセル、2g)	1328.7±645.3	91.7±31.5	5.9±1.0	43.3±43.9 ^{*2}

(Mean±S.D., n=43 ※1:n=42 ※2:n=41)

ドコサヘキサエン酸



	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AAUC _{0-14h} (μg·h/mL)	ΔC _{max} (μg/mL)	Δt _{max} (h)	Δt _{1/2} (h)
オメガ-3脂肪酸エチル 粒状カプセル2g「MJT」	309.0±195.5	77.8±31.3	5.7±1.2	2.1±3.0 ^{*3}
標準製剤 (カプセル、2g)	308.6±205.5	76.6±31.5	5.6±1.1	2.1±1.6 ^{*3}

(Mean±S.D., n=118 ※3:n=95)

血漿中濃度並びにΔAUC、ΔC_{max}等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

【薬効薬理】⁴⁾

オメガ-3 脂肪酸エチルに含まれるイコサペント酸エチル及びドコサヘキサエン酸エチルは吸収された後、血清リポ蛋白に取り込まれ、リポ蛋白代謝を活性化したり、肝ミクロソームに取り込まれ、脂質の生合成・分泌を阻害したりすることによりトリグリセリド低下作用を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

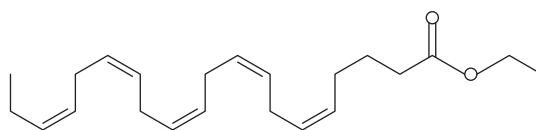
一般名：オメガ-3 脂肪酸エチル[※]

性状：オメガ-3 脂肪酸エチルは淡黄色の澄明な液であり、イソオクタン、エタノール（95）及びテトラヒドロフランに混和し、水にほとんど溶けない。

※本品はイコサペント酸エチルとドコサヘキサエン酸エチルを主成分として構成される。以下にイコサペント酸エチルとドコサヘキサエン酸エチルを示す。

イコサペント酸エチル

化学構造式：



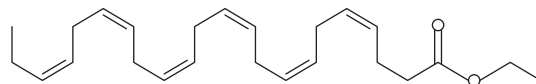
化学名：ethyl (5Z,8Z,11Z,14Z,17Z)-icosa-5,8,11,14,17-pentaenoate

分子式：C₂₂H₃₄O₂

分子量：330.50

ドコサヘキサエン酸エチル

化学構造式：



化学名：ethyl (4Z,7Z,10Z,13Z,16Z,19Z)-docosa-4,7,10,13,16,19-hexaenoate

分子式：C₂₄H₃₆O₂

分子量：356.54

【取扱い上の注意】

安定性試験⁵⁾

最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度 75%、6 か月）の結果、オメガ-3 脂肪酸エチル粒状カプセル 2g「MJT」は通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

【包装】

オメガ-3 脂肪酸エチル粒状カプセル 2g「MJT」
56 包

※【主要文献】

- 1) Bhatt DL, et al. : N. Eng. J. Med, 380: 11-22, 2019.
- 2) Nicholls SJ, et al. : JAMA, 324: 2268-2280, 2020.
- 3) 森下仁丹株式会社社内資料（生物学的同等性試験）
- 4) NEW 薬理学（改訂第 7 版）：540-541, 2017
- 5) 森下仁丹株式会社社内資料（安定性試験）

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター
〒461-8631 名古屋市東区東外堀町35番地
TEL 0120-19-8130 FAX (052) 950-1305

【製造販売元】

森下仁丹株式会社

大阪市中央区玉造1丁目2番40号

【販売元】

 **株式会社 三和化学研究所**
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631